

科目名	法 学 Jurisprudence	科目コード	10400
-----	----------------------	-------	-------

学科名・学年	全学科・4年（プログラム1年）
担当教員	佐藤 公俊（一般教育科）
区分・単位数	履修単位科目・選択・1単位
開講時期・時間数	後期，30時間【内訳：講義30】
教科書	長谷部恭男『憲法と平和を問いなおす』筑摩書房（2004）
補助教材	プリント、ビデオ、インターネット、プレゼンテーション
参考書	松下圭一著『政治・行政の考え方』岩波書店（1998）、同著『市民自治の憲法理論』岩波書店（1975）

【A．科目の概要と関連性】

学生諸君には、人権思想、平和主義、民主政治・市民主義思想をテーマとした授業を聴いて、日本国憲法の三原則である人権、民主主義および平和についての社会科学的な知識を獲得してもらいたい。

また、社会的・法的・行政的な問題の社会科学的な把握の仕方と、それを表現する方法、および人権／倫理への配慮、これらを身につけることに努めてもらいたい。広い視野をもち、地球と人類に優しいエンジニアとして育てほしい。

関連する科目：現代社会、歴史（以上、2年次履修）、歴史学 A、経済学 A、哲学 A（以上次年度履修）

【B．到達目標と学習・教育目標との対応】

この科目は長岡高専の学習・教育目標の(A1)と主体的に関わる。

この科目の到達目標と、成績評価上の重み付け、各到達目標と長岡高専の学習・教育目標との関連を以下の表に示す。

到達目標	評価の重み	学習・教育目標との関連
人類の人権について学び、新しい人権や男女同権論について理解する。	25%	(a1)
世界の現状とあるべき姿および世界的平和主義を理解する。	25%	(a1)
社会契約思想についての古典と現代的な文献から、国家主義ならびに民主主義及び市民主義／市民主権、及び世界政府について理解する。	50%	(a1)

【C．履修上の注意】

日本国憲法の三大原則をメインテーマとして、基本的人権の尊重、民主主義、平和主義について講義を進めていきます。学生諸君はモラルやマナー、ルールの意味や大切さを、さらに本校学生として特に、エンジニアとして、職業倫理の大切さ、及び、地球と人類への思いやりを理解してください。

【D．評価方法】

次に示す項目・割合で達成目標に対する理解の程度を評価する。60点以上を合格とする。

定期試験（50％）【内訳：後期末 50】、レポート／小論文など（50％）

【E . 授業計画・内容】

後期

回	内容	備考
1	ガイダンス、レポート作成の注意	
2	人権について：憲法の人権規定、世界的平和生存権	
3	日本国憲法の成立：人権の保障	ビデオ
4	日本国憲法の成立：男女同権化	
5	立憲主義と民主主義 1	
6	立憲主義と民主主義 2	
7	平和主義について：世界の平和 / 安全保障への課題	カントの『永遠平和のために』
8	民主 / 市民主義の典型とコア：『怒れる 1 2 人の男たち』	ビデオ
9	社会契約論について：ホッブズの国家論、ルソーの人民主権論	
10	社会契約論について：ロックの民主 / 市民政府論	
11	松下氏の国家主権論批判と国際政府論：分節信託論、世界政府の可能性	
12	市民主義について：松下氏の市民主権論と地方自治体制、及び、直接民主主義的自治体；分節主権論	
13	福祉国家体制について	
14	社会システムについて	
-	学年末試験	試験時間：80分
15	試験解説と発展授業	